

Rotary



宮崎南週報



感動と充実で豊かな夢と輝きを

宮崎南ロータリークラブ
会長 日高 章智

第1836回例会

2015.6.22

会長／日高 章智 幹事／入佐 秀幸
副会長／川野 一義 会報／戸高 勝利
例会場／宮崎観光ホテル
ソング／日も風も星も おぼろ月夜
ロータリーの目的

会長挨拶

日高章智会長



皆さんお元気さんです。本日で私の例会場での挨拶は終了する事になりました。あっと云う間の一年でしたが、皆さんの友情と云うより敬老の精神で支えていただき会長を務めさせていただきました。創立40周年の記念すべき年度で例年より行事が集中しましたが、入佐幹事を始め各委員長のもと、皆様に支えられ40周年記念行事も丸山実行委員長以下会員参加の最良のおもてなしの心で素晴らしい思い出に残る祝典祝賀会となりました。何事も全員一致で成し遂げる南クラブの伝統が充分生かされた記念すべき私の一年となりました。改めて皆様のご協力に熱く感謝申し上げます。後で会長の報告もありますが、私が今年一番感銘を受けた事は3月13日、田中作次R I前会長の歓迎晩餐会で田中会長にお会い出来た事です。立ち話でしたが私の話に笑顔でアドバイスいただき生涯忘れぬ一刻でした。ご自身は新潟の田舎から就職列車で上京され、少年の時から向学心を強く持ち働き、苦労を重ねながら日本一の売上高の企業に育て上げ又、国際ロータリーのトップリーダーのR I会長の座に到達され、常に人生におけるチャレンジ精神の重要性を示され、ロータリーから学んだことが私の人生そのものとロータリー活動

出席委員会報告

分田正明委員長

●出席状況

| 本日状況 | |
|--------|----------|
| 会員数 | (39) 40名 |
| 本日欠席者数 | 11名 |
| 本日出席者数 | 29名 |
| 出席率 | 74.36% |

| 前々回状況 | |
|------------|----------|
| 会員数 | (39) 40名 |
| ホームクラブ出席者数 | 32名 |
| メークアップ数 | 0名 |
| 修正出席者数 | 32名 |
| 修正出席率 | 82.05% |

ニコニコ BOX 0件 0円
累計 247,000円

募金箱 4,580円
累計 184,765円

が目的の職業奉仕社会奉仕の基軸であったと強調されました。私にとって感動と充実の素晴らしい一年でした。

幹事報告

入佐秀幸幹事



・7月からのレートは124円になります。

本日のプログラム

年度末報告

直前会長

小園隆司直前会長



直前会長の立場で、一年内を振り返っても、特に何かをしたという事ではないのですが、それより一年間モチベーションを保てるかどうか心配でしたが、創立40周年の事業に参加できた充実した年でした。10年後、50周年を迎えた時、メンバーの顔ぶれもかなり変わっていると思いますが、先輩の方々が作りあげられた歴史をかみしめながら、又来期一年静かに頑張ります。



ロータリー情報

●国際 RYLA大会(International RYLA)

R I青少年指導者養成プログラム(RYLA)大会は、毎年国際大会に付随して開催される。参加は招待制とし、参加を申し込む人は、地区レベルのRYLA行事にすでに参加したことがあり成果を収めた年齢18歳から30歳までの青少年参加者が、ロータリアンのカウンセラーでなければならない。議題は、RYLAの中心的カリキュラムに基づき、地区レベルのRYLA行事で参加者に紹介されたリーダーシップの原則を国際的な場でさらに高めることを目的としている。

副会長

川野一義副会長



副会長として日高会長を補佐する立場でしたが、日高会長は例会を一回も休まれることも無く1年間私の出番はありませんでした。日高会長の体調管理の素晴らしさに感動しながら1年間を終りました。ありがとうございました。

幹事

入佐秀幸幹事



みなさん、こんにちは。

今年度、一年間、幹事を勤めさせていただきありがとうございました。

日高会長はじめ皆様にはロータリーのことも熟知していない未熟な幹事で南ロータリークラブの運営がスムーズにできず、大変ご迷惑をおかけしましたこと、お詫びいたします。申し訳ございませんでした。ただ、この一年間、地区大会、ライラ、IMそして40周年等といろんなイベントを経験でロータリーを知るには大変勉強になった年でした。支えてくださった会長、南クラブの会員の皆様そして奥野さんには大変感謝しております。一年間ありがとうございました。

会長の言葉

日高章智会長



会長として年度末報告を致します。宮崎南RCの創立40周年の記念すべき年度に2度目の会長として皆さんの力強い支えで無事終了する事が出来ました。例会に一度も欠席する事なく出席した事で一年間健康で過ごす事が出来、ホッとした気持ちです。

8月11日はガバナー公式訪問の日でした。田中俊實ガバナーが我がクラブの創立10周年記念（橋口正樹会長）の時の田中千尋ガバナーのご子息であった素晴らしい偶然に大変感動されました。奥様は健在で98才だそうです。

10月18～19日鹿児島で地区大会が開催され十数名出席しました。会場や交通の面での問題がありましたが、心を込めた準備で田中ガバナーの熱意を感じられました。我がクラブの千葉さんの独唱となった「ありがとうございますロータリー」が場内に流れ和やかな雰囲気となり盛り上りました。

8月19日の深夜から20日未明にかけて広島県を中

心に局地的な豪雨により土石流が発生、団地の住宅がのみ込まれ死者・不明者88名、救助活動中の消防署員も殉職されるという大惨事となりました。自然破壊に近い団地の造成が原因だと感じました。

明けて1月17～18日我がクラブがホストとして青少年指導者養成研修会（ライラ）が開催されました。「人間力」をテーマに宮崎薰さんの講話はご自身の体験を交えながら前向きなチャレンジと笑顔の挨拶など、研修生はもちろん私共も感銘した二日間でした。

3月14日は田中作次前R I会長の懇親会。15日はIMが開催され、田中作次前R I会長と都城出身の中村パストガバナーによる息のあった対話形式の展開により、会場が笑いと感動の素晴らしい講話となりました。最後に田中会長が「ロータリーは私の人生そのものです。」と締められ私にとって、感動の二日間でした。我がクラブの参加者が少なかったのが残念でした。

3月16日は私共南RCの40周年記念式典と祝賀会の日でした。丸山実行委員長を中心に入念に準備を重ねた全員の熱意と結束力で素晴らしい思い出に残る記念行事を無事終了する事が出来ました。特に友好クラブの蓮田RCからは遠路19名もご参加され、40周年記念行事の共同事業報告と調印式にも立ち合っていただき改めて強い責任と使命感を感じました。

又、オープニング演奏で鵬翔高校、宮崎農業高校の吹奏楽部の皆さんが演奏とは別に、「青い山脈」の合唱を組み、それを全員で唱った事は重苦しい雰囲気を和らげる素晴らしい試みがありました。

3月21日は第38回になる少年少女球技大会でした。蓮田市からレックスFC少年団も参加され晴天の大淀川河川敷で熱戦を展開し、無事事故もなく終了しました。蓮田の少年歓迎会は例会を変更してこの日に行いました。子供達全員から喜び一杯の笑顔でお礼の挨拶があり、とても印象的でした。

5月18日は蓮田RCの黒須会長から紹介されました原田前会長（タイ国チェンライRC）の1時間に及ぶ講話は、現地の現状を自身の体験を交えながら熱弁され、私共の支援の重要性を強く感じました。

改めて我がクラブの会員相互の親睦がクラブの運営に生かされていると強く感じた私の記念すべき一年でした。